

# 2012年5月期 決算説明資料

---

株式会社インテリックス

「リノベーション(再生)というマンションの新しい選択」

## 1. 2012年5月 決算概要

- 1-1 連結業績ハイライト
- 1-2 連結損益の概況
- 1-3 連結貸借対照表の概況

## 2. 2013年5月期 連結業績予想

- 2-1 2013年5月期 連結業績予想
- 2-2 2013年5月期 連結業績予想の内訳

## 3. 中古マンション市場の動向

- 3-1 中古マンション市場の動向①(前年比)
- 3-2 中古マンション市場の動向②(実数推移)
- 3-3 中古マンション市場の動向③(成約価格)

## 4. 2013年5月期 重点方針

- 4-1 2013年5月期 重点方針の考え方
- 4-2 本社移転・営業拠点の統合
- 4-3 事業期間の状況
- 4-4 厳選仕入れによる収益性の回復
- 4-5 事業展開エリアの拡大への取り組み

- 4-6 その他不動産事業プロジェクトの推進
- 4-7 エコキューブ事業の積極展開
- 4-8 グループ企業による3事業の強化

## 5. コーポレート・データ 【参考資料】

- 5-1 セグメント別 売上高
- 5-2 セグメント別 売上総利益
- 5-3 物件販売の状況①
- 5-4 物件販売の状況②
- 5-5 物件仕入の状況
- 5-6 当社販売実績と新築マンション供給戸数との比較
- 5-7 安定した需要の中古マンション市場
- 5-8 ストック重視の住宅政策への転換
- 5-9 リノベーション住宅推進協議会の活動状況
- 5-10株式の状況
- 5-11会社概要及び沿革

# 1. 2012年5月期 決算概要



2012年5月期 (2011.6~2012.5)

(単位:百万円)

	前期	当期	前期比
売上高	26,819	27,572	+2.8%
売上総利益	3,787	2,903	△ 23.3%
営業利益	1,343	528	△ 60.6%
経常利益	767	△ 64	—
当期純利益	556	△ 118	—

	前期末	当期	前期末差
総資産	22,669	20,787	△ 1,881
たな卸資産	15,807	14,154	△ 1,652
自己資本比率	26.6%	28.2%	+1.6ポイント

### 【リノヴェックスマンションの販売実績】

販売件数: 1,123件 (前期比: △8件)

平均単価: 22.3百万円 (前期比: △0.5百万円)

- 震災後も不動産価格の下落が続き、棚卸評価損を計上し、収益率が低下

### 【損益ダイジェスト】

- リノヴェックスマンション販売件数は前年割れ、市場価格の下落もあり販売価格が低下
- 新築分譲マンション販売を含め、その他不動産事業の寄与により、売上は前期を上回る
- 早期売却に向けた価格調整により、物件販売の粗利益率が低下
  - ・リノヴェックスマンション販売の粗利益率  
前期: 12.3% ⇒ 当期: 7.9
  - ・棚卸評価損: 454百万円 (前期比: +122.9%)

### 【貸借対照表ダイジェスト】

- 仕入調整により、たな卸資産は減少
  - ・仕入金額: 180億円 (前期比: △18億円)
  - 中古マンション: △27億円、その他: +8億円

## ■ 四半期毎の業績推移

	当1Q		当2Q		当3Q		当4Q		通期		
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比
売上高	6,634	100.0%	6,856	100.0%	6,330	100.0%	7,752	100.0%	27,572	100.0%	+2.8%
売上総利益	668	10.1%	618	9.0%	692	10.9%	924	11.9%	2,903	10.5%	△ 23.3%
営業利益	73	1.1%	32	0.5%	129	2.0%	294	3.8%	528	1.9%	△ 60.6%
経常利益	△ 74	△ 1.1%	△ 149	△ 2.2%	△ 19	△ 0.3%	179	2.3%	△ 64	-0.2%	—
当期純利益	△ 48	△ 0.7%	△ 133	△ 2.0%	△ 18	△ 0.3%	82	1.1%	△ 118	-0.4%	—

## ■ 売上高および粗利益率の推移

	当1Q		当2Q		当3Q		当4Q		通期		
	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	前期比
リノヴェクスマンション	6,413	8.1%	6,575	7.0%	5,824	8.5%	6,268	8.2%	25,081	7.9%	△ 2.9%
その他不動産	0	—	42	5.1%	279	15.5%	1,239	20.8%	1,560	19.3%	—
物件販売	6,413	8.1%	6,617	6.9%	6,104	8.8%	7,507	10.3%	26,642	8.6%	+3.1%
賃貸収入	199	67.7%	203	68.2%	200	68.5%	192	68.5%	796	68.2%	△ 2.8%
その他売上	20	61.2%	35	57.1%	25	56.9%	52	38.7%	134	50.5%	△ 20.4%
売上高合計	6,634	10.1%	6,856	9.0%	6,330	10.9%	7,752	11.9%	27,572	10.5%	+2.8%

## ■ 保有物件の売却や仕入調整により、たな卸資産は減少

(単位:百万円)

	2011年5月期 期末		2012年5月期 期末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
たな卸資産	15,807	69.7%	14,154	68.1%	△ 1,652	△ 10.5%
その他流動資産	1,643	7.3%	1,403	6.8%	△ 240	△ 14.6%
流動資産	17,451	77.0%	15,557	74.8%	△ 1,893	△ 10.8%
固定資産	5,217	23.0%	5,230	25.2%	12	+0.2%
【資産合計】	22,669	100.0%	20,787	100.0%	△ 1,881	△ 8.3%
流動負債	12,267	54.1%	11,005	52.9%	△ 1,261	△ 10.3%
固定負債	4,325	19.1%	3,881	18.7%	△ 443	△ 10.3%
【負債合計】	16,592	73.2%	14,886	71.6%	△ 1,705	△ 10.3%
【純資産合計】	6,076	26.8%	5,901	28.4%	△ 175	△ 2.9%
【負債及び純資産合計】	22,669	100.0%	20,787	100.0%	△ 1,881	△ 8.3%

### 【たな卸資産の内訳】

通常物件	89億円 (△8億円)
	462件 (+5件)
賃貸収入物件	51億円 (△7億円)
	186件 (△22件)

◆ 保有物件の売却促進に加え仕入調整により、たな卸資産は16億円減少

◆ 長期保有収益物件(オフィスビル等)  
・保有高:42億円、6件  
(前期末比:増減なし)

◆ 有利子負債残高は減少  
・有利子負債残高:135億円  
(前期末比:△18億円、△11.9%)

## 2. 2013年5月期 連結業績予想



■ リノヴェックスマンションの収益改善により、黒字化、利益積上げを目指す

(単位:百万円)

	2012年5月期 通期(実績)			2013年5月期 通期(予想)			
	金額	売上比	前期比	金額	売上比	前期比	前期差
売上高	27,572	100.0%	+2.8%	25,489	100.0%	△ 7.6%	△ 2,083
営業利益	528	1.9%	△ 60.6%	865	3.4%	+63.7%	+336
経常利益	△ 64	-0.2%	-	331	1.3%	-	+395
当期純利益	△ 118	-0.4%	-	241	0.9%	-	+360
1株当たり 当期純利益(円)	△ 1,575.20	-	-	3,208.01	-	-	-
期中平均株式数	75,345	-	-	75,427	-	-	-

【配当予想】

◎業績の回復により、復配を目指す

中間	期末	年間	連結配当性向
0円	800円	800円	24.9%

- 市況価格が底ばいで推移することを想定
- 仕入れを絞り込んで、物件当たりの収益性を高めることで、収益の改善を図る

## 売上区分別の内訳見込

(単位:百万円)

売上区分	2012年5月期 (実績)		2013年5月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前期差異
物件販売	26,642	96.6%	24,277	95.2%	△ 8.9%	△ 2,364
賃貸収入	796	2.9%	685	2.7%	△ 13.8%	△ 110
その他収入	134	0.5%	525	2.1%	+291.0%	+391
売上高	27,572	100.0%	25,489	100.0%	△ 7.6%	△ 2,083

### ■ リノヴェックスマンション の販売見込

#### 【販売件数(予想)】

通期 **1,072件**

(前期比: △51件、△4.5%)

#### 【販売価格(予想)】

通期 **21.4百万円**

(前期比: △0.9百万円、△4.2%)

### ■ 物件販売による売上高の内訳

	上期	下期	通期
リノヴェックスマンション	11,721	11,223	22,944
その他不動産	96	1,236	1,332
物件販売 計	11,818	12,459	24,277

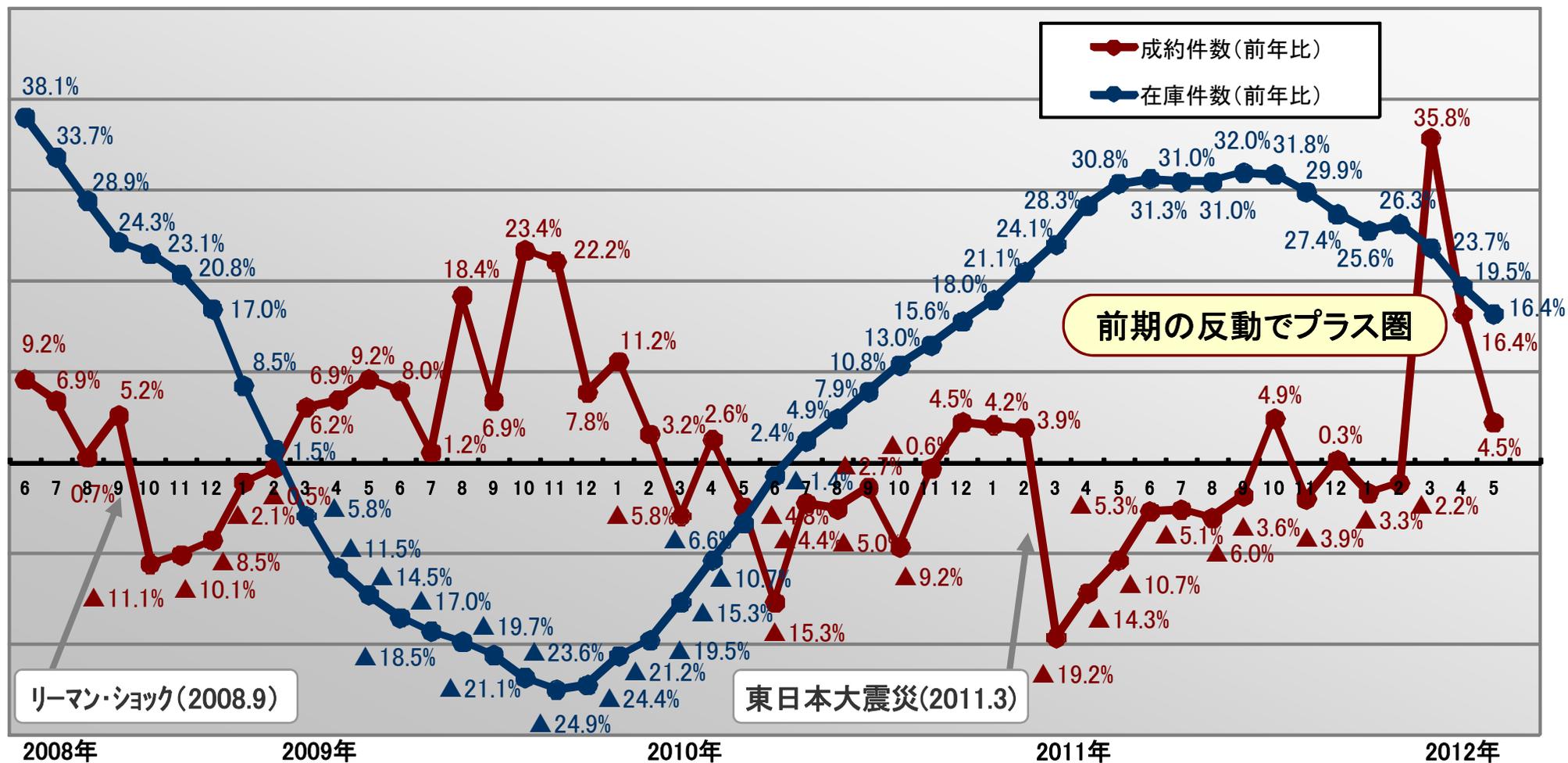
⇒下期(4Q)に、新築分譲マンション(田園調布)  
17戸を見込む

### ■ その他収入: エコキューブ事業の拡充による増収を見込む

### 3. 中古マンション市場の動向

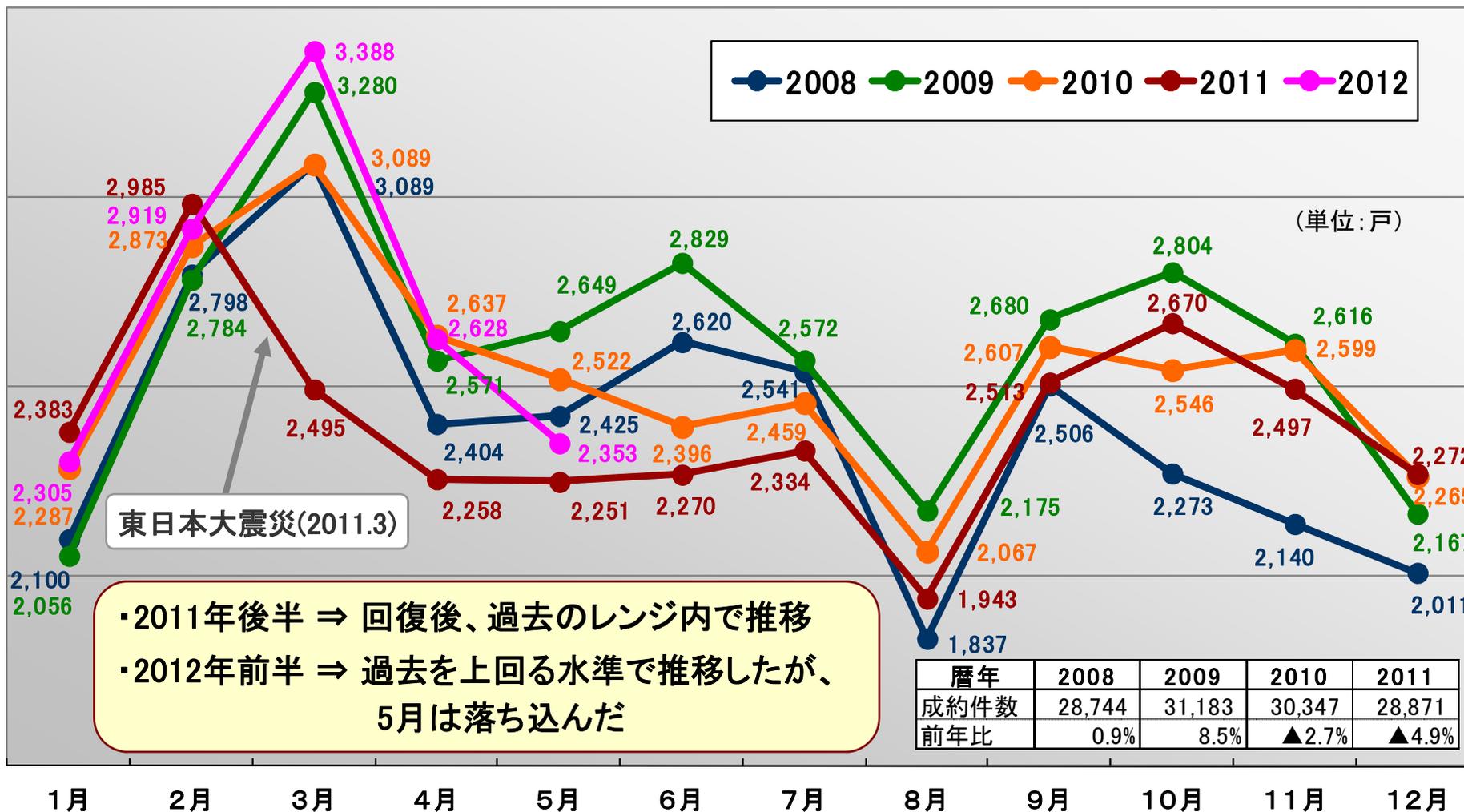


## ■首都圏の中古マンション成約件数及び在庫件数の推移 (前年比での増減率トレンド 2008.6-2012.5)



※(財)東日本不動産流通機構(東日本レインズ)のデータを基に当社が作成

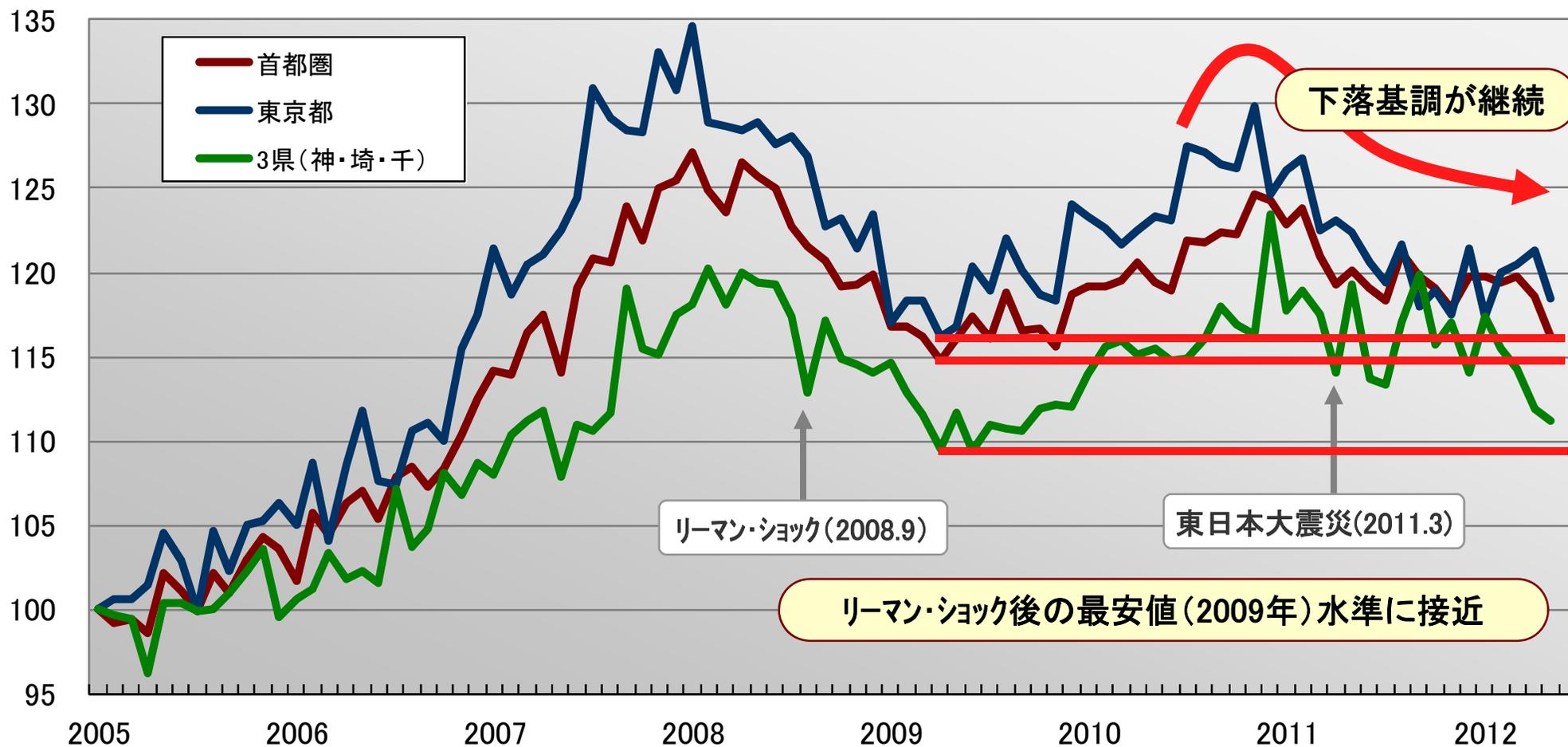
## ■首都圏の中古マンション成約件数の推移 (月次実数トレンド 2008.1-2012.5)



※(財)東日本不動産流通機構(東日本レインズ)のデータを基に当社が作成

## ■首都圏の中古マンション成約㎡単価指数の推移（2005.1-2012.5）

（㎡単価指数：2005年1月を100とした指数）



※(財)東日本不動産流通機構(東日本レインズ)のデータを基に当社が作成

## 4. 2013年5月期 重点方針



**【2013年5月期 当社スタンス】**

営業力の強化により競争力を高め、収益を回復させる

**2013年5月期 重点方針**

- 組織強化による事業推進力の向上
- 短期事業モデルの継続強化
- 厳選仕入れによる収益性の回復
- 新たな収益基盤の構築
- グループ企業による3事業の強化

- リーマンショック以前の拠点体制に戻し、組織力の強化を図る

【従来】

管理部門

渋谷店

八重洲店

横浜店

- 経費削減のため、複数の自社ビル※に分散（横浜店除く）

※一部売却済み

【今期】

管理部門

本社に集約

本店

横浜店

- 本社を移転、渋谷店・八重洲店を移転統合

- 部門間のスムーズな連携・意思決定
- 非営業部門から営業へ一部社員シフト
- オフィス環境の向上による効率化


 組織力の強化を促進

- 事業期間の短縮化は継続課題 ⇒ 引き続き重点的に取り組んでいく



### リノヴェックスマンションの事業期間の推移

(保有期間180日超過の長期滞留物件を除く)



- 期初は、震災直後の影響により、事業期間全体が延びた
- 期後半は、売れ行きが低下し、販売期間が延びた

- 仕入れの絞り込みにより、物件当たりの収益性を改善

### 仕入体制の見直し強化策

- 仕入の決裁権限を見直し ⇒ 執行役員へ決裁権限を集約
- 仕入価格算定のための情報システムを強化 ⇒ 価格査定の精度向上
- 仕入時の判断プロセスのデータベース化を拡充 ⇒ 情報共有の強化

### ■ ナレッジマネジメントによる仕入能力の強化

#### 【2013年5月期 物件仕入計画】

- ◆ 仕入件数： 通期 **1,060件** (前期比: △44件、△4.0%)
- ◆ 仕入平均単価： 通期 **15.1百万円** (前期比: △43万円、△2.8%)

- 事業対象エリアを首都圏に加え、新たなエリアでの展開を試みる

### 【事業展開エリア】



- リノベーション市場の認知度の高まり
  - 首都圏で新規参入プレイヤーが相次ぐ
  - 物件の買取価格の上昇を誘引
- 地方主要都市でも年を経た中古ストックが増加



- 首都圏での仕入件数への上乗せを目指す
- 新エリアで試行的に仕入を試み、市場性を検証

#### 札幌エリア

- 年初より市場調査開始
- 札幌店開設準備室を設置

#### 福岡エリア

- 今期より市場調査開始

## ■ 多様な不動産により、新たな収益基盤の構築を図る

### 【第一弾】 収益物件の建て替えプロジェクト



⇒ 新築分譲マンション「リシャール奥沢」が3月竣工

● 18戸中16戸売却済み ⇒ 売上に寄与



### 【第二弾】 新築分譲マンション開発「田園調布プロジェクト」始動 ⇒ 7月着工開始

もう出逢えないかもしれない16邸。

## 田園調布分譲マンション計画

〔地元優先販売／近日分譲開始予定〕

全邸南向き／専用ポーチ付

スタイル 1LDK・2LDK

専有面積 30㎡台～50㎡台～60㎡台

www.dencho.jp



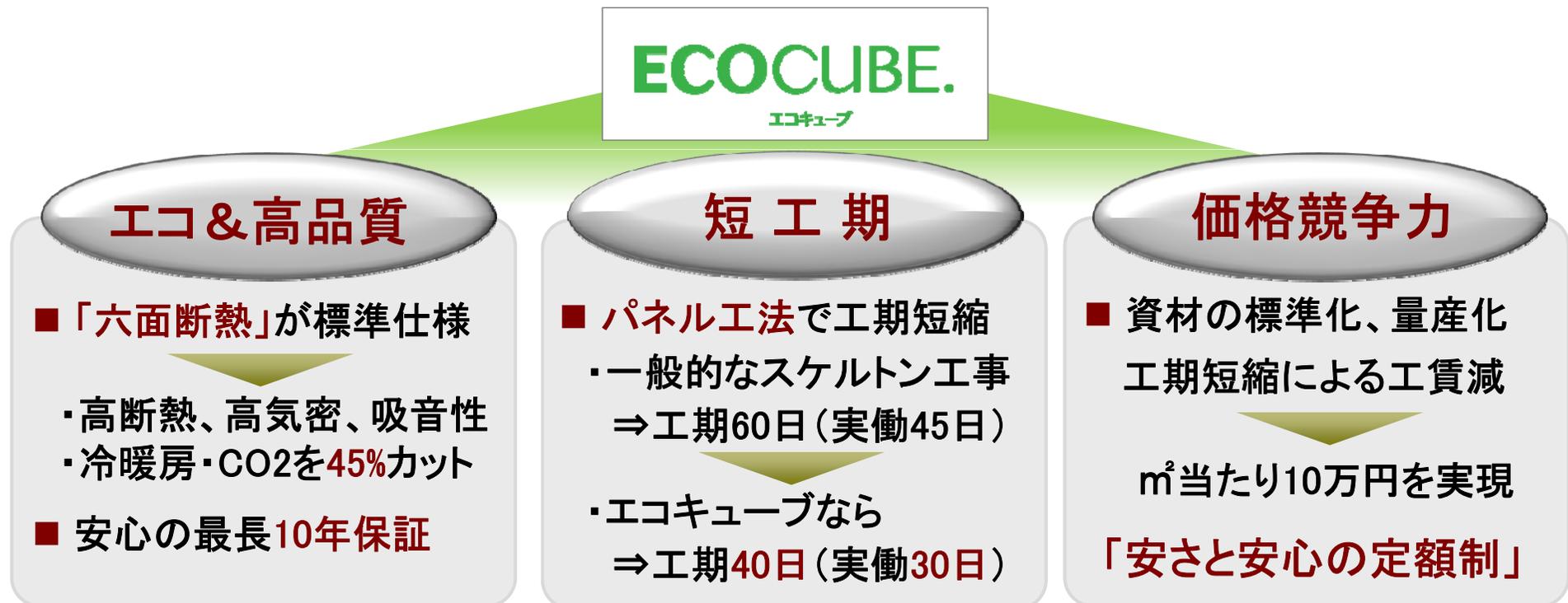
イメージイラスト  
※掲載のイメージイラストは、計画段階の図面を基に作成したもので実際とは多少異なります。

### 【物件概要】

- 所在地：大田区田園調布  
(田園調布駅 徒歩3分)
- 総戸数：16戸、他に店舗1戸
- 構造：鉄筋コンクリート造7階建
- 間取りタイプ：1LDK～2LDK
- 建物竣工：平成25年4月下旬予定
- 引き渡し：平成25年5月下旬予定
- 販売代理：インテリックス住宅販売

■ エコキューブ事業を将来の収益の柱に育てていく

- プロジェクトチーム⇒専任部署を設け本格稼働
- 人員の増強により、業容の拡大を図る
- 今期下期には、月間10件受注を目指す



※工期：60㎡標準仕様を想定

- リノベーションの全てのニーズに応える企業グループを目指す
- 3事業のさらなる強化を図り、早期の収益事業化を実現する

### お客様のニーズ

【対象物件】

物件購入希望

物件所有

【リノベーション】

既製品方式

オーダー方式

### 提供ソリューション

【リノベーション済マンション】



インテリックス

【購入仲介&amp;内装コンサル】

「中古マンション  
&リノベーション」

インテリックス住宅販売

【請負型リノベーション】



インテリックス空間設計

## 5. コーポレート・データ 【参考資料】

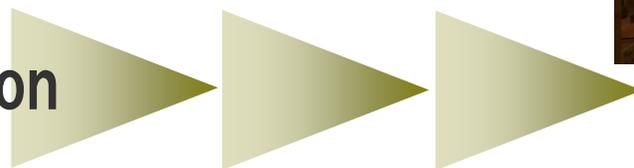
Before



After



Renovation



(単位:百万円)

セグメント	売上区分	2011年5月期		2012年5月期		前期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
中古マンション 再生流通事業 (リノヴェックス マンション事業)	物件販売	25,831	96.3%	25,081	91.0%	△ 750	△ 2.9%
	賃貸収入	350	1.3%	293	1.1%	△ 57	△ 16.4%
	その他収入	35	0.1%	32	0.1%	△ 3	△ 8.9%
	小計	26,217	97.8%	25,407	92.1%	△ 810	△ 3.1%
その他不動産 事業	物件販売	0	0.0%	1,560	5.7%	1,560	—
	賃貸収入	468	1.7%	502	1.8%	34	+7.4%
	その他収入	133	0.5%	102	0.4%	△ 31	△ 23.4%
	小計	601	2.2%	2,165	7.9%	1,564	+260.1%
合計	物件販売	25,831	96.3%	26,642	96.6%	810	+3.1%
	賃貸収入	818	3.1%	796	2.9%	△ 22	△ 2.8%
	その他収入	168	0.6%	134	0.5%	△ 34	△ 20.4%
	合計	26,819	100.0%	27,572	100.0%	753	+2.8%

※その他不動産事業: ビル、戸建、土地等にかかる事業

※その他収入: 主に子会社インテリックス住宅販売による不動産仲介手数料の売上、  
インテリックス空間設計による一般ユーザー向けリノベーション工事受託事業

(単位:百万円)

セグメント	区分	2011年5月期		2012年5月期		前期比	
		金額	粗利益率	金額	粗利益率	増減金額	増減率
中古マンション 再生流通事業 (リノヴェックス マンション事業)	物件販売	3,177	12.3%	1,991	7.9%	△ 1,186	△ 37.3%
	賃貸収入	258	73.7%	217	74.1%	△ 40	△ 15.9%
	その他収入	35	100.0%	32	100.0%	△ 3	△ 8.9%
	小計	3,471	13.2%	2,240	8.8%	△ 1,230	△ 35.5%
その他不動産 事業	物件販売	4	—	301	19.3%	297	+6867.2%
	賃貸収入	286	61.3%	325	64.8%	38	+13.5%
	その他収入	+24	18.4%	35	34.8%	10	+44.6%
	小計	315	52.5%	663	30.6%	347	+109.9%
合計	物件販売	3,182	12.3%	2,292	8.6%	△ 889	△ 27.9%
	賃貸収入	545	66.6%	543	68.2%	△ 2	△ 0.4%
	その他収入	60	35.6%	67	50.5%	7	+13.0%
	合計	3,787	14.1%	2,903	10.5%	△ 883	△ 23.3%

※その他不動産事業: ビル、戸建、土地等にかかる事業

※その他収入: 主に子会社インテリックス住宅販売による不動産仲介手数料の売上、  
インテリックス空間設計による一般ユーザー向けリノベーション工事受託事業

## 物件の販売件数

※その他不動産：ビル、戸建、土地等

	2011年5月期	2012年5月期	前期比
リノヴェックスマンション	1,131	1,123	△ 0.7%
その他不動産	0	22	—
総合計（件）	1,131	1,145	+1.2%

## リノヴェックスマンション販売の概要

	2011年5月期	2012年5月期	前期比
販売物件 平均築年数（年）	18.4	19.7	+1.3
販売物件 平均面積（㎡）	63.8	63.8	+0.0
平均販売価格（千円）	22,839	22,334	△ 2.2%

## リノヴェックスマンションのエリア別販売動向分析

エリア区分	2011年5月期			2012年5月期			
	販売件数	エリアシェア	平均単価	販売件数	前期比	エリアシェア	平均単価
東京都23区	276	24.4%	27百万円	317	+14.9%	28.2%	25百万円
東京都下	122	10.8%	22百万円	95	△ 22.1%	8.5%	22百万円
神奈川県	505	44.7%	21百万円	478	△ 5.3%	42.6%	21百万円
埼玉県	151	13.4%	20百万円	153	+1.3%	13.6%	19百万円
千葉県・他	77	6.8%	18百万円	80	+3.9%	7.1%	17百万円
合計	1,131	100.0%	22百万円	1,123	△ 0.7%	100.0%	22百万円

## 物件仕入の概要

※その他不動産：ビル、戸建、土地等

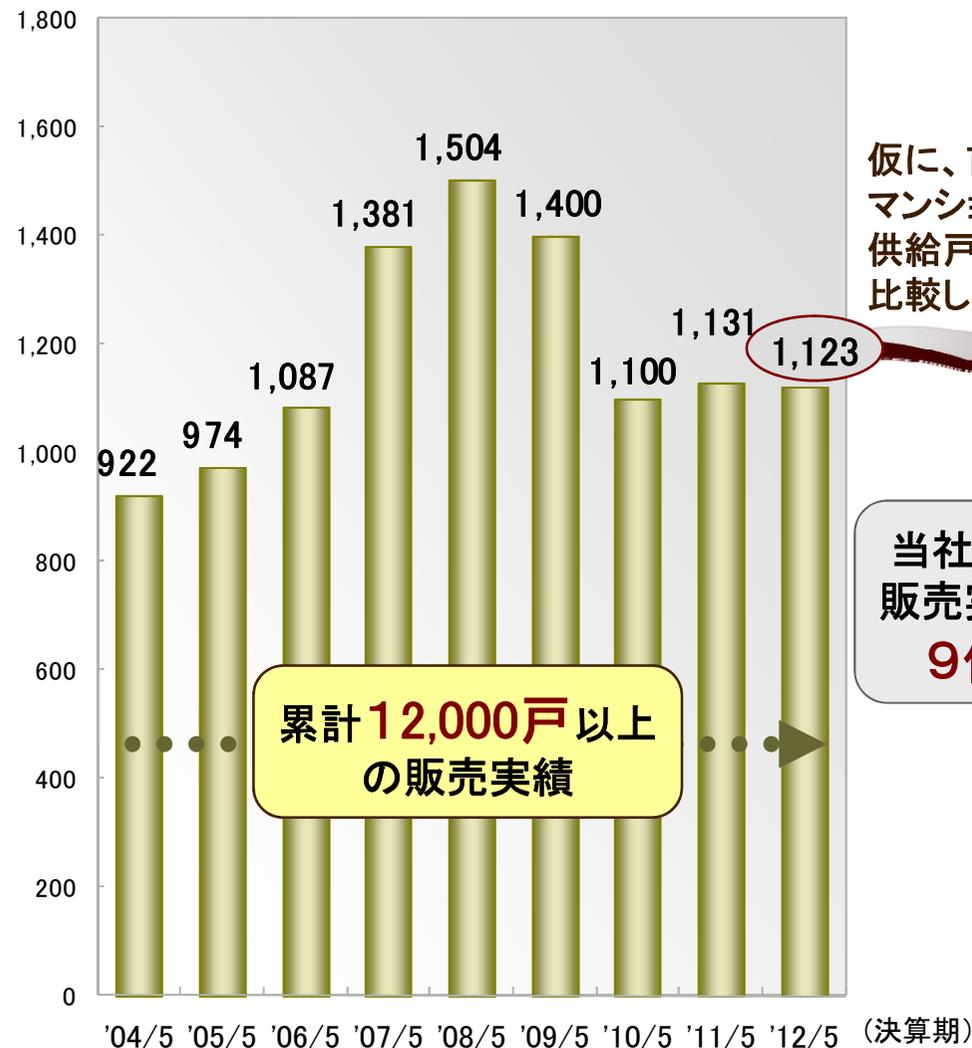
セグメント	2011年5月期		2012年5月期			
	件数	金額	件数	前期比	金額	前期比
リノヴェックスマンション	1,215	198億円	1,104	△ 9.1%	171億円	△ 13.6%
その他不動産	1	0.9億円	5	+400.0%	9億円	+856.6%
合計	1,216	199億円	1,109	△ 8.8%	180億円	△ 9.3%

## リノヴェックスマンションのエリア別仕入状況

エリア区分	2011年5月期			2012年5月期			
	仕入件数	エリアシェア	平均単価	仕入件数	前期比	エリアシェア	平均単価
東京都23区	335	27.6%	19百万円	279	△ 16.7%	25.3%	18百万円
東京都下	114	9.4%	16百万円	70	△ 38.6%	6.3%	16百万円
神奈川県	531	43.7%	15百万円	526	△ 0.9%	47.6%	15百万円
埼玉県	172	14.2%	14百万円	127	△ 26.2%	11.5%	14百万円
千葉県・他	63	5.2%	12百万円	102	+61.9%	9.2%	11百万円
合計	1,215	100.0%	16百万円	1,104	△ 9.1%	100.0%	15百万円

### ■ 当社リノヴェックスマンション販売実績の推移

(戸数) (事業年度別)

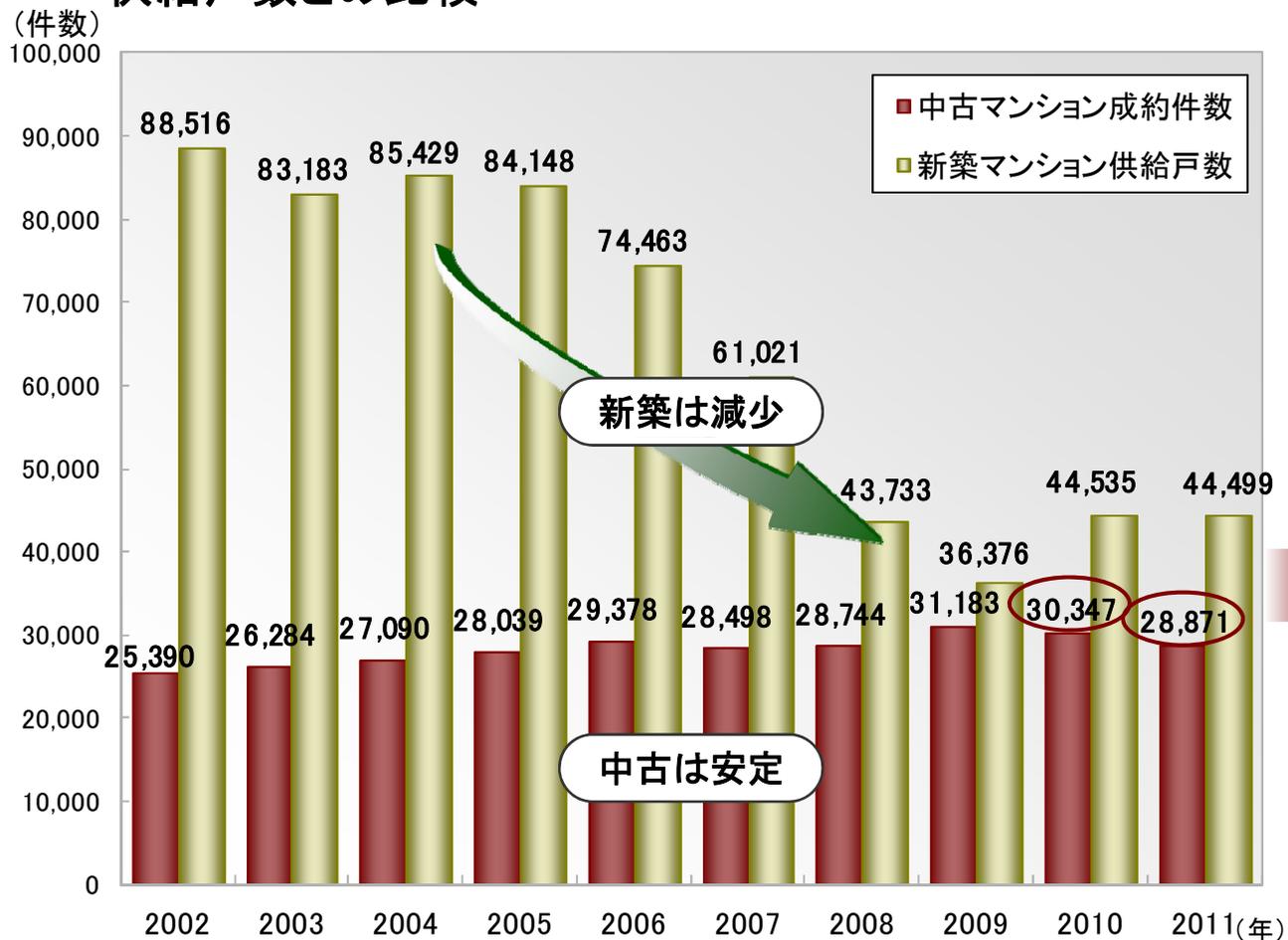


### ■ 2011年 首都圏新築マンション事業者別供給戸数ランキング

順位	社名	供給戸数
1	三井不動産レジデンシャル	4,043
2	三菱地所レジデンス	4,037
3	野村不動産	3,678
4	大京	2,803
5	住友不動産	1,649
6	タカラレーベン	1,252
7	有楽土地	1,244
8	コスモスイニシア	1,239
9	ナイス	1,027
10	伊藤忠都市開発	976
11	日神不動産	967
12	名鉄不動産	958
13	オリックス不動産	915
13	ゴールドクレスト	915
15	グローバル・エルシード	903
16	東京建物	882
17	大和ハウス工業	853
18	モリモト	834
18	東急不動産	809
20	明和地所	739

出所: 不動産経済研究所のデータを基に当社作成

## ■首都圏における中古マンション成約件数と新築マンション供給戸数との比較



※ 新築マンション供給戸数：(株)不動産経済研究所による発売戸数データに基づき当社が作成

※ 中古マンション成約戸数：(財)東日本不動産流通機構のデータに基づき当社が作成

### 傾向

- 新築の供給は、景気動向に左右されやすい傾向
- 中古マンション市場は、安定したマーケットを形成

### 展望

#### 首都圏の中古マンション成約数

◎年間 30,000件前後で推移

- 中長期的に、新築と中古の市場規模の逆転も視野に
- リノベーションマンションの注目度が高まる

- これまでの「新築重視」の住宅政策から、「ストック重視」の住宅政策への転換促進に向けて

「住宅を作っては壊す」社会から、「良いものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」社会へ

新成長戦略「**国家戦略プロジェクト**」を公表（2010.6.18閣議決定）

〔2020年目標〕中古住宅の流通市場・リフォーム市場を**倍増（20兆円）**へ  
（中古市場：8兆円、リフォーム市場：12兆円）

- 2011年度に「中古・リフォーム市場整備のトータル・プラン」を策定、実施
  - ・建物検査・保証、住宅履歴情報の普及促進等の市場環境整備、規制改革
- 住宅・不動産市場の活性化 ⇒ ・建築基準法の見直し
- 環境に優しい住宅の整備 ⇒ ・省エネ基準の見直し  
・エコポイント活用等によるエコリフォームの推進

■ 業界団体、一般社団法人「リノベーション住宅推進協議会」が順調に活動中



◎ 業界・業種の枠を超え、2009年7月に会員 109社 でスタートし3年経過

⇒ 会員数は順調に増えており、現在 **347社** [除く: 特別会員(4名、7法人、2自治体)] (2012.7月現在)

・地方部会: 首都圏、北海道、東海、関西、中国・四国、九州 で活動中

### 活動状況

■ リノベーション住宅の統一基準を定め、消費者が安心してリノベーション住宅の取得ができるように推進

・区分所有マンションの適合リノベーション住宅「R1住宅」: 累計 **7,432件** (2012.3月現在)  
年度 **2,783件** (2011.4-2012.3)

■ リノベーションの認知・普及を目的に各種イベントを企画

「リノベーション EXPO JAPAN 2011」を開催 (2011.9-11)

・全国6地区でリノベーションを体験できるイベントを実施

セミナー、トークイベント、オープンルーム、学生アイデアコンペ等

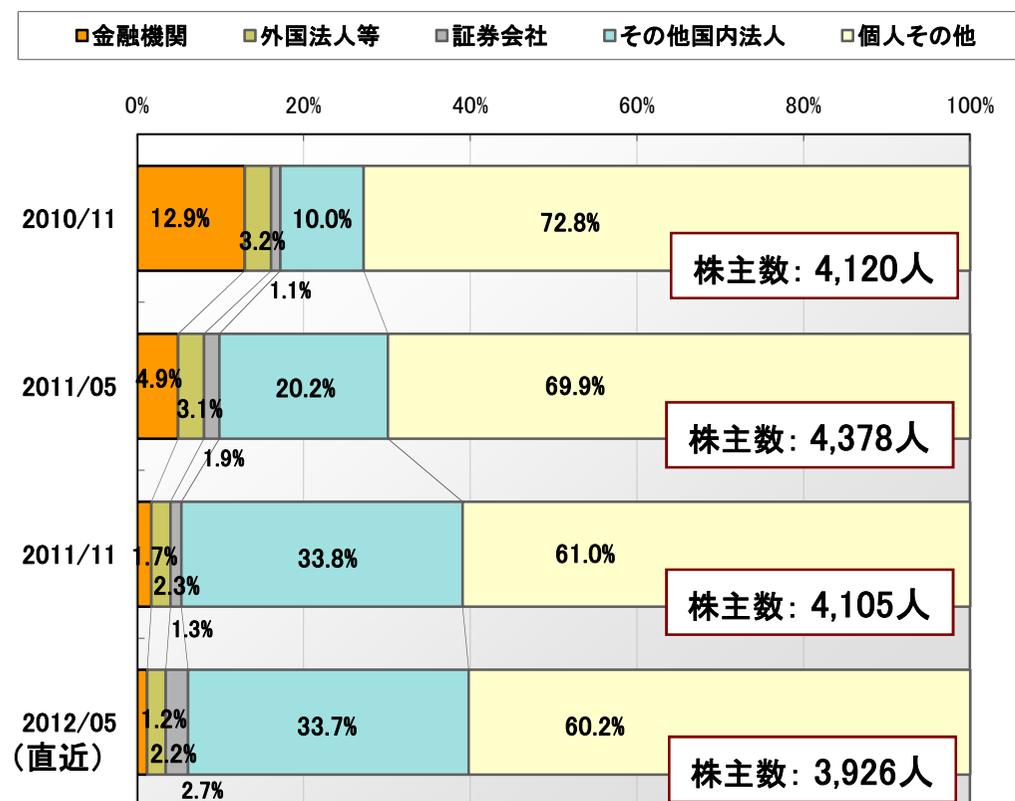
⇒ 各イベントに延べ3,600人が来場

⇒ 次回、2012年秋に開催決定



## 【株主構成(所有株数別)の推移】

(2012.5.31現在)



- 機関投資家が減少  $\Delta 0.6$ ポイント (4% $\Rightarrow$ 3.4%)
- 個人投資家が減少 (61% $\Rightarrow$ 60.2%)し、信用取引(証券会社名義)が増加 (1.3% $\Rightarrow$ 2.7%)

## 【大株主の状況】

(2012.5.31現在)

- 発行済株式数: 75,427株 (前2Q末比: +65株)
- 株主数: 3,926人 (前2Q末比:  $\Delta$ 179人)

大株主名	所有株数 (株)	議決権比率 (%)
株式会社イーアライアンス	23,613	31.3
山本 卓也	12,125	16.1
松井 秀紀	2,200	2.9
インテリックス従業員持株会	1,887	2.5
山本 貴美子	1,330	1.8
株式会社SBI証券	1,303	1.7
CREDIT SUISSE AG ZURICH	1,200	1.6
田部 和昭	1,070	1.4
北沢産業株式会社	714	0.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	675	0.9

## 【会社概要】

(2012年5月31日現在)

- 社 名 株式会社インテリックス
- 設 立 1995年(平成7年)7月17日
- 代 表 者 代表取締役社長 山本 卓也
- 資 本 金 1,659,586,577円
- 発行済株式数 75,427株
- 上 場 市 場 東京証券取引所市場第二部
- 証 券 コード 8940
- 決 算 日 5月31日
- ホームページ <http://www.intellex.co.jp>
- 営 業 拠 点 渋谷、横浜
- 従 業 員 数 連結197名、単体121名

## 【沿革】

年 月	事 項
平成7年 7月	東京都世田谷区に内装工事を目的として資本金1,000万円で株式会社プレステージを設立
平成8年 2月	宅地建物取引業者として東京都知事免許を取得(登録(1)第73719号)中古マンション再生流通事業(リノヴェックスマンション事業)を開始
平成8年 7月	商号を株式会社インテリックスに変更
平成10年 2月	株式会社インテリックス空間設計(現・連結子会社)を設立
平成12年 7月	取扱物件の情報管理のための「総合管理システム」を完成、導入
平成13年 7月	株式会社エムコーポレーション(現・株式会社インテリックス住宅販売、連結子会社)の全株式を取得
平成15年 2月	横浜市西区に横浜店を設置
平成15年 2月	宅地建物取引業者として国土交通大臣免許を取得(登録(1)第6392号)
平成15年 6月	当社グループの株式会社セントラルプラザを吸収合併
平成16年 9月	不動産鑑定業者として東京都知事登録(登録(1)第1934号)
平成17年 4月	JASDAQ証券取引所に上場(証券コード:8940)
平成19年 5月	東京証券取引所市場第二部に上場

# Good-Infill (グッド・インフィル) 工法



六面断熱

二重サッシ



ヘッダー配線システム

Good-Infill工法の普及拡大をテーマとした提案が、国土交通省「建設企業の連携によるフロンティア事業」\* に採択されました

【 マンションリノベーション分野で唯一 】

\* 建設企業が、他企業との協力・連携により、新たな技術開発、雇用機会を創出し、成長分野の開拓を図る事業を、国が支援する制度。

- 工法普及による、技術底上げ、住宅品質の向上
- リノベーション需要拡大により、雇用機会を創出

# Before – After ( I )

Before



After



# Before – After ( II )

Before



After



IRに関するお問い合わせは、  
経営企画部 IR室 阿部 まで御願ひ致します。  
TEL: 03-5766-7639 E-Mail: ir@intellex.co.jp

<http://www.intellex.co.jp/>

当資料に記載された内容は、2012年7月現在において一般的に認識されている経済・社会などの情勢および当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであります。

これらの記述は、経営環境の変化などの事由により、予告なしに変更される可能性があります。従いまして、当社の業績などの予測を立てられる際に、当資料に全面的に依拠されることはお控えくださいますようお願い致します。投資に関する最終的なご判断は、ご自身がなされるようお願い申し上げます。